



## かけがえのない時間を胸に刻み込んだかい

浦島伝説第12号と同じタイトルになってしまいました。あときは体育祭、今度は合唱コンクール。そして、職員合唱『オワりはじまり』（かりゆし58）の歌詞にもある言葉です。きっと、この問いかけに対して、「友達と共にかげがえのない時間を胸に刻み込むことができました！」と胸を張って言える人が多い合唱コンクールだったと思います。

今年の合唱コンクールは、2年ぶりにマリンウェーブで行われました。（ちなみに昨年度は、新しい体育館の落成記念を兼ねて中学校の体育館で行われました。）音響効果抜群のホールだけに、すばらしい歌声が期待されました。しかし、リハーサルの様子を見てみると、「本当にこれで大丈夫かな」と不安になりました。それでも、早朝練習や昼休み、放課後の練習と、学級担任や副担任の先生、音楽科の南先生と一緒に頑張ってのおかげで、日に日にうまくなっているのがよくわかりました。そして、当日の最後の早朝練習では、眠っている身体と心に刺激を与えようと、マリンウェーブの周りを走っている姿が見られました。これまであまり見たことのない光景で、すばらしい合唱コンクールになる“予感”がありました。

1年生は、例年になくレベルの高い歌声を聞かせてくれました。2年生は、安定した歌声で1年生よりもレベルアップした合唱でした。そして、3年生は、迫力ある歌声と豊かな表現力が見事なハーモニーを奏で最上級の合唱でした。1年生よりも2年生、2年生よりも3年生がうまいという“当たり前”の合唱が、来年への目標やあこがれに変わり、よい伝統として受け継いでいってくれることでしょうか。また、どのクラスも、これまでの練習を含めて一番いい合唱だったと思います。「ONE CHANCE」を見事に生かしてくれました。さらに、歌う前に学級紹介をしているときの姿もとても堂々としていました。服装の乱れもなく、全員がそろっている姿から、心もそろっていることが伝わってきました。

そして何より、3年生の涙が印象的でした。アンコールでステージに上がった3年2組、涙をぬぐいながら歌う姿には心を打たれました。これこそが「感動の涙」です。その一方で、賞がとれず、泣きながら退場している生徒の姿もありました。でも、この「くやし涙」は一生懸命に取り組んだ“証”であり、いつか必ず「うれし涙」に変わっていくはずです。友達と共に涙を流すことができた経験こそ、「一生忘れないような出来事に出会えた」（『オワりはじまり』の歌詞）ということでしょうか。

合唱コンクールは“オワリ”でしたが、また新たな目標への“はじまり”として頑張っていきましょう。

1年団…金賞：2組、銀賞：3組 最優秀指揮者賞；喜多 晃也（2組）、最優秀伴奏者賞；三宅 菜月（3組）  
 2年団…金賞：1組、銀賞：3組 最優秀指揮者賞；尾崎 文音（3組）、最優秀伴奏者賞；山下 裕生（4組）  
 3年団…金賞：2組 最優秀指揮者賞；矢野衣理奈（1組）、最優秀伴奏者賞；渡邊 彩（2組）



3年生全員合唱 『証』